

授業の概要 / Course description

科目基礎情報 / Course information	
開講元学部 / Faculty	共通 / COMMON
開講元学科 / Department	全学共通 / GENERAL STUDIES
登録コード / Registration Code	GSD101B1
期間 / Period	2022年度 / Academic Year 春学期 / SPRING
学期 / Semester	春学期 / SPRING
曜限 / Period	火 / Tue 1
教室 / Classroom	火1 :1-403 / 1-403
科目名 / Course title	データサイエンス概論 / OVERVIEW OF DATA SCIENCE
授業形態 / Course Type	講義 / Lecture
科目ナンバリング / Course Numbering	INF101-02j00
レベル / Level	100
教員表示名	倉田 正充
担当教員名 / Instructor	倉田 正充 / KURATA MASAMITSU
単位数 / Credits	2
更新日 / Date of renewal	2022/03/08
講義概要情報 / Course description	
授業実施方法 / Class format	対面授業 / Face-to-face classes only
授業実施方法に係る追加情報 / Additional information concerning the class format	ハイフレックス授業のためのZoomのIDは、授業前日までにLoyolaの掲示板で知らせる。
キーワード / Keywords	データサイエンス 統計学
アクティブ・ラーニングの実施 / Active Learning	あり / Yes
授業の概要 / Course description	<p>急速なデジタル化とグローバル化が進展し、社会構造・産業構造が大きく転換しつつある現代社会において、データサイエンスは我々の日常生活のさまざまなシーンで活用されている。</p> <p>本科目では、こうした実例を取り上げながら、データサイエンスとは何か、なぜデータが必要なのか、いかにデータを利用できるか等について、具体的な事例を通じて理解を深めることを目指す。また更なる学修につなげられるよう、データ分析の手法を学ぶ上での導入的な部分を広く紹介する。さらに、データサイエンスにおける法と倫理の問題に触れ、個人情報を含むデータの利用について様々な観点から考える機会を提供する。</p> <p>本講義はデータサイエンティスト養成のための入門科目ではなく、過渡期にある“データ主導社会”/“超スマート社会”に関する「気づき」を得るための幅広いテーマを扱う導入科目として位置付けている。そのため、本講義の受講の前提として、数学的な知識は必ずしも必要としない。また、多様な考え方を学生同士で学ぶためのアクティブ・ラーニングを行い、適宜学生同士の相互評価の機会を取り入れる。</p>
ディプロマ・ポリシー (DP) との関連 (対応するポリシーは、科目開講元のポリシーである。借入れ科目の場合は、カリキュラムマップを参照のこと) / Correspondence to Diploma Policy of the offering Faculty and Department (Students who belong to other faculties and departments, check Curriculum Map of your faculty and department)	上智大学DP
到達目標 (授業の目標) / Course objectives	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会においてどのようにデータ・AIが活用されているかについて理解する。 2. データの読み解きや説明の仕方などのデータリテラシーについて理解する。 3. データ・AIの活用における法と倫理の問題など留意事項について理解する。
授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Expected work outside of class	課題の実施などで週あたり3~5時間程度の学修時間となることを想定している。
他学部・他研究科受講可否 / Other departments' students	可 / Yes ※要覧記載の履修対象とする年次を確認すること。 Please make sure to confirm the student year listed in the bulletin.

評価基準・割合 /Evaluation	授業参加/Class participation (14.0%) リアクションペーパー/Reaction paper/in-class assignments (30.0%) 小テスト等/Quizzes.etc. (30.0%) その他/Others(in detail) (26.0%) : 課題等
テキスト(教科書)/Textbook	自由記述/Free Text : 無し(授業で配布する講義資料をもってテキストに代える)。
参考書/Readings	自由記述/Free Text : 授業時に関連する参考書等を紹介する。

講義スケジュール/Schedule

授業計画/Class schedule	1.イントロダクション
	2.事例①:日常生活とデータサイエンス
	3.事例②:ビジネスとデータサイエンス
	4.事例③:公共政策とデータサイエンス
	5.手法①:特徴を理解する
	6.手法②:違いを確かめる
	7.手法③:原因を探る
	8.手法④:新たな発見をする
	9.手法⑤:将来を予測する
	10.手法⑥:データを準備する
	11.演習:データを扱う
	12.態度①:データのセキュリティ
	13.態度②:データの法と倫理
	14.まとめ:プレゼンテーション
課題等に対するフィードバック方法 /Mediums for feedback to students	Loyola/Moodleで行う/Loyola / Moodle